観光は平和へのパスポート
国連世界観光年宣言

JHSたより

平成26年7月25日（15,000部）発行
2014.7 Vol.51

学校法人日本ホテル学院
発行所／専門学校日本ホテルスクール
一般財団法人 日本ホテル教育センター
〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号　TEL.03-3360-8231(代)
http://www.jhs.ac.jp　http://www.jec-jp.org/　FAX.03-3360-8584

文部科学大臣より職業実践専門課程の認定受ける

～全国では専門課程2,847校の内472校の17%～
東京都では365校の内61校の17%

職業実践専門課程への議題検討会

本校では、今年3月31日付けで、文部科学大臣から昼間部国際ホテル学科2年制が「職業実践専門課程」に認定されました。昨年8月30日に新しい規程が公布・施行されてから、初年度だけに、予想外に少なく、全国では専修学校専門課程2,847校の内472校（1,373学科）の17%、東京都では365校の内61校（240学科）の17%が認定されました。

この新しい規程は、今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について、中央教育審議会答申、教育振興基本計画の閣議決定、調査研究協力者会議の提言等々を踏まえ、専修学校の専門課程であって、職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成することを目的として専攻分野における実務に関する知識、技術及び技能について組織的な教育を行うものを、「職業実践専門課程」として文部科学大臣が認定して奨励することにより、専修学校の専門課程における職業教育の水準の維持向上を図ることを目的とするものです。

こうした背景には、専門学校の学生が増加傾向にあり、卒業生数も30%を占める時代を迎え、日本の産業発展に専門学校卒業生の役割も大きくなってきたことから、高等教育機関の新しい枠組みが必要との認識が高まってきたことがあげられます。学生数の現状を見ると、25年度高校卒業者数約109万人の内、進学者数は、大学約52万人48%、短大6万人5%、専門学校約19万人17%、在籍者数は、それぞれ大学約256万人78%、短大約14万4%人、専門学校約59万人18%となっています。これらの数値から、卒業生数を類推すると、大学約59万人64%、短大約6万人6%、専門学校約27万人30%となっています。専門学校も新卒全体の約30%を占めるだけに、期待も大きくなっていると言えます。

専門学校も全国で約2,850校、教育体制も千差万別であることから、一定の基準や要件を満たしている専門学校が、初年度の認定を受けたことになります。新しい学校枠としての職業実践専門課程の認定では、カリキュラム編成、実習・演習教育など産業界との緊密な組織的な連携体制を作ること、教職員の資質向上、学校関係者評価、情報公開などを推進していくことが大きな特色となっています。

英語専攻科、短期留学制度…等々

ー時代の流れに先駆けてー

校長　石塚 勉

最近の新聞紙上、大学でのグローバル教育、世界共通語としての英語力の向上について、大きな記事が目立つようになってきました。

文科省も、小学校から英語の授業を、海外留学の促進を、英語で授業をと、英語によるコミュニケーション能力を高め、国際化に対応しようとしています。これが日本の教育界の大きな流れです。

本校では開校以来、国際化に向けて、全員参加の海外研修旅行、1年間の海外研修制度、海外大学との単位互換による編入制度、全校をあげての英語弁論大会、日英対訳教科書の開発、全学生へのTOEIC受験料支援等々を行ってきましたが、とりわけ、英語で授業を受ける英語専攻科、1年間の短期留学制度は、最近の話題の中核になっているものです。

英語専攻科は、2006～2014年の9年間で256人が専攻、現在では85%を英語で授業。また1年間（正味10ヶ月間）の短期留学制度は、1990～2011年の22年間に米国に1192人、2000～2014年の15年間に豪州へ331人、2012～2014年の3年間にカナダへ116人、合計1639人が留学しています。単純平均で年間75人が留学していることになります。

本校では、英語専攻科は9年前、短期留学は22年前からの取り組み。文部科学省が、「国際交流政策懇談会」を設置し、グローバル教育に本格的に乗り出したのは、5年前の2009年1月、大学等で具体的に対応し始めたのは極最近のこと、本校がいち早く取り組んできた様々な施策が、今の時代の中核的な話題となってきたことは、嬉しい限りです。大いに時代を先駆けて行きましょう。

カナダ・ダグラスカレッジ
多国籍の留学生と共に学ぶ本校短期留学生

2014 年度　入学式典を挙行
～521 名(留学生 27 名)が入学～

2014 年度の入学式を 4 月 11 日、なかの ZERO 大ホールで挙行しました。

入学式は、石塚勉校長の式辞から始まり、観光関係団体、企業、教育関係者計 26 名のご来賓を代表し、一般社団法人日本ホテル協会 会長 小林哲也様からご祝辞を頂きました。

一般社団法人日本ホテル協会
会長　小林哲也氏

小林様は祝辞の中で「2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定、訪日外国人旅行者数 1,000 万人を突破など、宿泊業界にとって追い風の中でビジネスを展開していける環境が整ってきたと言えます。このような絶好の機会に皆さんは、さまざまな夢や目標を持っていることでしょう。新入生の皆さんには、“ 人との出会い ” を大切にしていただきたいと思います。情熱を持ってあらゆる専門的な知識を吸収する気持ちで充実した生活を送っていただきたい。ホスピタリティ産業の未来を皆さんに託し、大いに活躍されることを期待しています」と述べられました。

ご来賓の皆様

式辞
石塚 勉 校長

1年生担任紹介

2014 年度　1 年生担任			
A	水澤　伸介	R	中村　浩二
B	吉岡　康子	G	井上　正子
C	井上　　浩	H	小野　昭彦
D	山本　浩子	I	井口　恵子
E	黒田　陽佑	J	名嘉原安智
F	川辺　　修	K	川上　忠道
L	中山　万作		

二つの JHS 学生会館

学生会館　浦安外観

学生会館　妙典外観

日本ホテルスクール直営の女子専用学生寮「JHS 学生会館浦安」及び「JHS 学生会館妙典」はホテルスクールまで乗り換えなし、共に 45 分で通学可能。

部屋は約 21 ㎡、バス・トイレ別。テレビ、冷蔵庫、電子レンジ、エアコン、ベッド、机、イス、カーテン、洗濯機を完備。乾燥機付きのバスは快適。鍵はオートロック式なので、防犯にもしっかり対応。コミュニティスペースもあり、友達と授業の予習・復習もできます。　また、管理人も常駐しているので、安心できる環境が整っています。

2014年度 JHSからの短期留学生 ホストファミリーとの生活がスタート
～オーストラリア・メルボルン 26 名、カナダ・バンクーバー 33 名～

ホストファミリーと

10 か月に及ぶ本校の短期留学プログラムに参加する、(カナダ 33 名、オーストラリア 26 名) 59 名の学生が 4 月 12 日にそれぞれの留学先へと旅立っていきました。

留学先に到着して間もなくホストファミリーの紹介があり、ファミリーの家での生活がスタートしました。

カナダ留学は、3 週間のオリエンテーションで、カナダ文化体験や英語の予備授業が行われ、カナダの生活に早く馴染めるようプログラムが組まれています。

キャンパスライフも充実！

オーストラリア留学は、1 週間のオリエンテーションで、市内観光、授業の受け方などを学び、レベルに分かれた ELICOS（英語プログラム）、TOEIC 対策などの授業を行います。

「JHS 学生会館」新入寮生の歓迎会を実施
～JHS 学生会館浦安・JHS 学生会館妙典　新入寮生が参加～

本校が直営する「JHS 学生会館　浦安」「JHS 学生会館　妙典」において、この春入寮した 1 年生対象の「入寮歓迎会」を館内ホールで開催しました。両会館合わせて約 70 名の学生が参加し、館長さんを中心に 2 年生も準備、手伝いに協力し、同じ学生会館で生活する学生同士の親睦を深める行事となりました。

新入生歓迎会の様子　学生会館 浦安

JHS 学生会館は、主に地方出身の学生を対象にした学校直営の女子寮で、浦安（千葉県浦安市）と妙典（千葉県市川市）にあります。それぞれの学生会館に館長が常駐しているため、入寮生が安心して勉学や研修に励むことができ、生活面全般をサポートする体制が整っています。

新入生歓迎会の様子　学生会館 妙典

JHS 学生会館に入館されている皆さんが東京での生活を通じ、勉学や研修に励むことのできる環境を整え、共同生活を送る中で充実した学校生活を送れるよう、学校も全力でサポートしています。

昼・夜間部１年生　入学後初の現場実習「ステイマナー宿泊研修」を実施
～ 宿泊研修で本物のサービスを体験 ～

昼･夜間部１年生を対象とした「ステイマナー宿泊研修」を６月３日～６日の期間に実施しました。この研修は、昼間部で２泊３日、夜間部で１泊２日の日程で学生自らがホテルで宿泊しながら、実際のホテルスタッフからサービス実務を学びます。

今年度、昼間部は横浜ベイホテル東急、夜間部はホテルマウント富士、ハイランドリゾートホテル＆スパにて実施しました。学生は現場のプロのサービスを受けながら食事やパーティを体験するとともに、学生自身が役柄を演じる本番さながらの模擬結婚披露宴、客室におけるベッドメイキング、テーブルセッティングに至るまで「ホテル」を利用客とスタッフ双方の視点から実感します。

このステイマナー宿泊研修はホテル・ブライダル実習を目前に控え、ホテルの現場の理解をより深めることを主な目的としています。

テーブルセッティング

模擬披露宴の様子

学生は、ホテルの総支配人から将来ホスピタリティ産業を担う者の心得についてのお話を伺った後、実際の宴会場で宴会用のテーブルセッティング、料理の持ち回りサービスなど、スタッフの立場で研修を受けました。料飲サービスのみならず、客室のベッドメイキング、そして宴会場における模擬挙式・披露宴も行われ、ホテルスタッフとゲストの両面の立場での体験を通じて、ホテルの理解を深めました。

ベッドメイキング

ホテルスタッフ指導のもと、サービスを学ぶ

料理の持ち回りサービス

外国人留学生バスツアーを実施
～ 日本文化の理解･交流を目的に ～

毎年恒例の外国人留学生バスツアーを６月 14 日に実施しました。韓国、中国、台湾、フランスからの留学生 27 名と教職員 14 名が参加し「日本の技術に触れよう」をテーマに、食品サンプル作り、日本未来科学館見学を実施し、昼食にはすき焼きをいただきました。

食品サンプル作りでは、参加者全員がミニサイズのパフェ作りに熱中し、仕上がりは一人ひとりの個性が活きた作品になっていました。また、日本未来科学館での見学は、日本の科学の進歩を目で見て、体験することができとても有意義な時間を過ごすことができました。

留学生の皆さんと教職員

食品サンプルづくりに挑戦

昼食は「すき焼き」

カレッジ部門「最優秀学校賞」受賞
～ HRS サービスコンクール 2014 ～

「第 8 回 HRS サービスコンクール 2014 カレッジ部門」において、決勝進出５名の内４名が本校から出場した学生であったこと、そして、金賞、銀賞、銅賞を独占したことから、一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会より３月７日に、カレッジ部門「最優秀学校賞」を受賞しました。

左から 島田先生、石塚校長、
一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 専務理事 芳賀孝博氏、
川上副校長

快挙!!　HRSサービスコンクール2014
～ 金、銀、銅賞を受賞 ～

２月 20 日に東京ビッグサイトにて開催された、第８回 HRS サービスコンクール　カレッジ部門に出場した夜間部ホテル科 2 年生の緑川知恵子さんが見事優勝の快挙、金賞を受賞しました。また、昼間部ホテル科２年の今井悠介さんが銀賞、夜間部ホテル科１年の松岡史花さんが銅賞を受賞し、本校学生が表彰台を独占しました。

入賞者で記念撮影

金賞受賞の緑川さん

HRSサービスコンクール　カレッジ部門

一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会が主催しているこのコンクールの応募資格は、年齢が 25 歳以下で、第 1 次審査である課題レポート「あなたは、2020 年のオリンピックイヤーには、どうなっていたいですか？」の書類審査を合格した方が出場できます。多数の応募の中から本校からは 2 年生 5 名、1 年生 3 名の計 8 名が本選に出場しました。いずれの学生も金賞を受賞してもよいほど、全員の技術レベルは高く、白熱したコンクールになりました。

「ブライダルゼミ発表会」開催
～USTREAMで生中継～

PC操作、音響照明操作をする学生

ブライダル科による「ブライダゼミ発表会」を2月20日にハイアット リージェンシー 東京で開催しました。

この発表会はブライダル科の学びの集大成として、グループごとにオリジナルのウエディングを企画・制作し、婚礼プランを外部の関係者にプレゼンテーションする発表会です。当日は、第一線で活躍するブライダルコーディネーターやホテルの婚礼宴会担当、観光・ブライダル関連企業の社員の方など、約70名が出席しました。

本年度は「日本～そして新時代へ～」をテーマに、校内選考で勝ち残った9チームが若い感性と自由な発想でオリジナルウエディングを企画・制作、外国人をターゲットとした観光型ウエディング、スマートフォンを利用した参加型ウエディングプランなど斬新なアイディアを披露しました

当日は、インターネット上でライブ映像の配信サービス USTREAM でライブ中継を行い、発表会に参加できなくともリアルタイムでプレゼンテーションを視聴することができました。

斬新なアイディアを提案する学生

本校では、よりよい効果的なサービスを提供するため、今後も SNS を活用したサービスを積極的に展開していきます。

第41期生　卒業式を挙行
～昼・夜間部414名が卒業～

ホテル正面玄関にて

第41期卒業式を3月10日にグランドプリンスホテル新高輪 国際館パミールにて挙行し、414名が卒業しました。

卒業式は、開式の辞に始まり川上教育部長の学事報告、そして卒業証書授与、各賞が石塚勉校長から授与されました。今年度は、2月に行われた「第8回HRSサービスコンクール 2014 カレッジ部門」において、金賞を受賞した緑川知恵子さんと、銀賞を受賞した今井悠介さんに特別賞が贈られました。

当日は、本校と交流があるモルディブ共和国の書記官、一般社団法人日本ホテル協会やホテルを含む観光業界のトップの方々をご来賓としてお招きしました。また、多くのご家族の皆さまにもご出席頂き、盛大な式を挙行することができました。

石塚勉校長は式辞で「皆さんは、東日本大震災で大変な状況の中で入学されました。まだまだ不十分ではありますが、徐々に回復の途についてきました。昨年、富士山が世界文化遺産、和食が世界無形文化遺産に登録されました。また、2020年に東京がオリンピック・パラリンピックの開催地に決定するなど、観光業界にとって嬉しいニュースとなりました。このような環境のもと、皆さんには仕事のできる人間になって欲しいと思っています。業界はグローバル化を本格的に迎え、国境を越えてさまざまな人との交流が活発になっています。自身が持っている基礎を磨き、視野を拡げてください」と述べられました。

卒業証書授与

卒業生の皆様

世界各国からの訪問者　深まる国際交流

フィリピン
～パーペチュアル大学～

本校の海外提携先であるフィリピンのパーペチャル大学より、国際ホスピタリティ学部学部長エビリーン アンチポーダ様とUPHグローバルアカデミー代表出張恵久氏2名が4月11日に来校し、本校校舎の施設見学と今後の両校の交流に向けて意見交換を行いました。

また、当日は午後に2014年度の入学式が行われ、来賓としてご出席いただき、祝辞として「日本ホテルスクールとパーペチャル大学とが今後も良好な関係が続き、同時に両校の学生がグローバルな競争社会に羽ばたいていくための十分な実践力身につけられる機会が提供できる事を望んでいます」とお言葉を頂戴しました。

左から川上副校長、出張氏、アンチポーダ学部長、
石塚校長、中山先生、井口先生

アメリカ
～ポールスミス大学～

左から、武内先生、Mr. Braun、Ms.Tuthill、
今 悠太さん、石塚校長

本校の3年次編入先であるアメリカニューヨーク州にある Paul Smith's College (PSC) より大学編入担当部長 Amy Tuthill 氏と入学アシスタント Keith Braun 氏の2名が、2014年5月16日に来校しました。

Paul Smith's College は、本校開校の1972年以来、長きに渡り交流がありました。これまで、学長をはじめ、入学担当者やホテルマネジメント教授など多くの関係者が本校に十数回来校してきました

PSC が2年制時代には JHS より17名の学生が留学、2001年より4年制学科を設置してからは1名が進学し、学士号を取得しています。4年制学科設置後には、JHSとの単位互換が可能となり、単位互換のための所定の単位取得者と TOEFL のスコアを満たした者は、本校卒業後2年間で学士号取得が可能となる協定を結んでいます。

トピックス

「仕事を考えるプロジェクト」に参加
～中野区立第二中学校～

中野区立第二中学校の2年生を対象に「仕事を考えるプロジェクト」が3月7日に行われました。このプロジェクトは中野区専門学校協会が主催し「学生に早い段階から将来の仕事について考えてもらいたい」という主旨のもと、年に数回実施されているイベントです。

このプロジェクトに参加した本校は「ホテルの仕事～オリジナルカクテルをつくろう～」というテーマで、教員と2名の在校生が90分間の模擬授業を行い、数種類のジュースをブレンドし実際にシェーカーを振りノンアルコールカクテル作りを体験してもらいました。

HRSサービスコンクールに出場した
在校生がカービングを披露

～ＪＨＳ同窓会便り～

2014年度 JHS同窓会幹部会議を開催
～ 今後の同窓会活動の方向性を確認 ～

本校の 2014 年度同窓会幹部会議を６月 13 日に開催し、同窓会役員、事務局９人が出席しました。

この会議は、年に一度開催する同窓会の役員会議で、前年度事業報告及び決算報告、2014 年度事業計画案、収支予算案について審議し、承認されました。また、同窓会運営規程の審議・承認、また同窓会会員バッジ制作についての提案があり、今後導入に向け検討に入ることになりました。そして、石塚校長（同窓会特別顧問）から学校運営状況及び学校創立 45 周年記念事業について、実施内容に関する助言を頂きました。

本校は 1971 年（昭和 46 年）に創立し今年で 43 周年、JHS 同窓会は 1977 年（昭和 52 年）に学校からの全面的な支援を得て設立されました。この間、同窓会支部として国内８ヶ所、海外 17 ヶ所を設置し、同窓大学等の行事を通じて交流を深め連携を強化して参りました。

JHS 同窓会は、今後も卒業生の相互交流の場、情報交換の場を提供し、学校の近況をお伝えする機関としての役割をしっかり担っていきたいと考えています。

前列左から：寶藏寺監事、中島会長、菊野監事
後列左から：黒須事務局長、下田事務局員、山田顧問、
川辺副会長、川上ｿﾑﾘｴｸﾗﾌﾞ事務局長、石塚校長

■同窓会に関するお問い合わせ
同窓会事務局：TEL:03-3360-8231　FAX:03-3360-8584

第17回 JHSソムリエクラブ開催
～ コンラッド東京にて ～

第 17 回 JHS ソムリエクラブの会合を 2 月 25 日にコンラッド東京のレストラン「コラージュ」で行い、24 名が参加しました。

今回のソムリエクラブは″最優秀ソムリエ″から学ぶというテーマで実施しました。日本／アジア・オセアニア代表ソムリエの森氏から、コンラッド東京のヘッドソムリエに就任した経緯、コンクールへの思い、今後の目標などを伺うことができました。これから日本を代表するソムリエをめざす若手の卒業生にとって、貴重な時間になりました。

JHS ソムリエクラブは、卒業生を対象とした同窓会組織のひとつで、2005 年 7 月に発足しました。同窓会活動の一環として、ソムリエおよび料飲に携わる卒業生の勉強の場として年 2 回の会合を行ない、今日まで 8 年が経過いたしました。今後、さらに発展的な会合になるよう継続して参ります。興味のある卒業生は是非ご連絡をお待ちしております。

シャンパンで乾杯

参加者の皆様とJHS関係者
写真前列右端：石塚校長

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ
担当：川上　TEL:03-3360-8231　kawakami@jhs.ac.jp

地元紙に本校の卒業生が掲載されました
～ 一條一平さん（1989年卒業）～

一條一平さん（1989 年卒業）が河北新報社が発行する日刊新聞・河北新報（2014. 6. 19 付）の「みやぎ 街 ひと 話題」に掲載されました。

一條さんは本校卒業後、ホテルインターコンチネンタル 東京ベイなどで勤務。1999 年に家業の一條旅館に入り、2003 年に代表取締役社長に就任されました。開湯およそ 600 年の歴史を誇る旅館の 20 代目として活躍されています。東京でのホテルマン経験を踏まえ、「湯治」から「料亭」に方向転換し、従業員の接客サービスを徹底的に磨くなど、先代から経営を引き継いだ立て直しの様子が掲載されています。

鎌先温泉　湯主一條

一條一平さん

■鎌先温泉　湯主一條
TEL：0224-26-2151　http://www.ichijoh.co.jp/

海外で活躍する卒業生

インド －THE TAJ MAHAL PALACE－

左から、黒沢先生、佐藤さん、
タージホテルズ日本代表の徳原氏、石塚校長

インドの高級ホテル「THE TAJ MAHAL PALACE」でセールス・マネジャーとして赴任している、佐藤誠さん（2004 年卒業）が、来校しました。

佐藤さんは赴任後、日本から訪れる多くの VIP のお客様の対応を担当、昨年は天皇皇后両陛下が、また、今年1月には安倍総理大臣がインドを訪問された際、同ホテルに滞在中、唯一の日本人ホテルスタッフとして、案内役として対応しました。

ドバイ －HYATT REGENCY DUBAI－

アラブ首長国連邦を構成する首長国のひとつで中東屈指の都市ドバイ。そのドバイの歴史ある高級ホテル「ハイアットリージェンシードバイ」（HYATT REGENCY DUBAI 客室数 414）で、セールスエグゼクティブとして活躍している卒業生、塚越恵太郎さん（2011 年卒業）が一時帰国し、近況報告を兼ね来校しました。

左：在学時の担任 黒須先生　右：塚越さん

ハワイ

左：石塚崇先生　右：小林さん

1994年に本校を卒業した小林雅之さん（旧姓　近藤雅之）が、ハワイにカジュアルダイニング「bills（ビルズ）ワイキキ店」を開業しました。

小林さんは、本校卒業後パーク ハイアット東京へ入社、ベルサービスへ配属となりました。その後、行き届いた接客サービスが評価され、イタリア「セリエA」でも活躍した元プロサッカー選手、中田英寿氏のマネージャーを8年間務めた経歴もある経験豊富な卒業生です。

財団ニュース

スコールクラブ東京、創立 50 周年記念式典を開催
～ 帝国ホテルで観光関係者 150 人が参加 ～

調印式
写真中央：石塚理事長（スコールクラブ日本会長）

東京クラブへ本部から感謝状

4 月 16 日、帝国ホテル東京で、スコールクラブ東京創立50周年記念式典を開催しました。スコールクラブ東京（会長＝ヴィクター・大隅＝ＩＨＧ／ＡＮＡホテルズグループジャパン日本地区営業推進マーケテイング統括本部長）は、1964 年 4 月、航空、ホテル、旅行など観光業関係の経営陣が集まって設立され、今年で 50 年を迎えたものです。当日は、スコール・インターナショナル本部理事ニゲル・ピルキントン氏、スコール・アジア会長マルコ・バッティストッティ氏をはじめ、内外併せて約 150 名が参加しました。また、この式典を記念して、クロアチアのザグレブ・クラブと姉妹提携を行いました。

スコールクラブ

スコールクラブは、1932 年にフランス、パリで設立され、その理念は世界の旅行業界の善意と友好関係を促進すること。”Doing Business Among Friends” を標語として、世界各国の旅行関連事業に携わるマネージメント・クラス以上の方たちが会員となっている民間の国際組織で、世界 85 カ国に 450 のクラブがあり、会員数は約 18,000 人。日本には、東京、大阪、名古屋の３都市にそれぞれクラブがあり、東京クラブでは 64 名が正会員として登録されています。

2014 年 3 月より、当財団の石塚勉理事長が日本会長（National President）を務めています。

第 43 回スコール・クラブ・アジア大会バリ島で盛大に開催

第 43 回スコール・クラブ・アジア大会（43th Skal Asia Congress 2014 Bali）が 6 月 5 日～ 8 日、インドネシアのバリ島、ヌサ ドゥア ビーチ・ホテル＆スパで開催され、17 カ 国、26 クラブ、70 名が参加、現地の会員約 60 名もこれに加わり、総勢約 130 人の参加のもと、総会に加えて、郷土演芸が披露され、盛大な大会となりました。

ガラディナーにて
マルコ・バッチストッティ アジア会長（左）と
石塚理事長（右）

ガラディナーにて
ニュージーランドからの参加者の皆様と

日本旅館国際女将会
2014 年度　役 員 名 簿

名誉会長	小口　潔子	四季彩一力
会　長	長坂　正恵	しょうげつ
副会長	岡崎　純子	高見屋
副会長	村田　知世	五浦観光ホテル
理　事	若松佐代子	新つた
理　事	矢口　委子	岬ひとひら
理　事	榎本眞規子	三河屋旅館
理　事	磯田　悠子	ホテル大観荘
理　事	太田　清子	箱根吟遊
理　事	小渕　祥子	冨士屋
理　事	松本　富子	紅葉舘別庭あざれ
理　事	阿部　憲子	ホテル観洋
理　事	下竹原成美	白水館
理　事	村田和華子	五浦観光ホテル
監　事	荒木　紀子	長生館
監　事	須賀　紀子	滝の家

日本旅館国際女将会 通常総会　小笠原伯爵邸にて開催
～ 新会長に長坂正恵氏（岐阜県下呂観光ホテルしょうげつ）が就任 ～

日本旅館国際女将会通常総会・懇親会が 6 月 23 日に小笠原伯爵邸にて開催され、会員及び関係者 29 名が参加しました。

会長　長坂正恵氏

総会では、2013 年度事業報告、決算報告、2014 年度事業計画、収支予算計画、新会員紹介及び役員人事承認がなされ、新役員が決定致しました。新会長には若松佐代子氏「福島県湯本温泉　新つた」に代わり、長坂正恵氏「岐阜県下呂観光ホテルしょうげつ」が就任、副会長には、岡崎純子氏「山形県高見屋」、村田知世氏「茨城県五浦観光ホテル」が再任されました。

メインダイニングを背景に
参加者の皆様

総会終了後は昭和初期に小笠原長幹伯爵の邸宅として建てられたスパニッシュ様式の館を見学、懇親会・料理勉強会では、小笠原伯爵邸の料理長 Gonzalo Alvares 氏より、スペインの今を伝えるテクニックを織り交ぜ、日本の恵み豊かな食材を使用した料理の説明に熱心にメモや写真を撮る姿がみられました。

会議風景

懇親会・料理勉強会

ホテル塾・マイス塾合同卒塾式
～ 延べ卒塾生が328名に ～

3 月 14 日、当財団が主催する第 13 期ホテル産業経営塾と第 3 期 MICE（マイス）塾の合同卒塾式が執り行われました。

延べ卒塾生は、ホテル塾～第 13 期 14 名を加えて300名に、マイス塾～第3期11名を加えて28名に、合計 328 名を数えるまでになりました。

今後もホテル業界で活躍できるリーダーを数多く輩出できたら幸いです。皆様のご指導ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

第13期ホテル産業経営塾・
第3期MICE塾合同卒塾式

編集責任者：石塚　勉
編 集 担 当：黒沢由美子
連　絡　先：03-3360-8231
kurosawa@jhs.ac.jp